

ヤリオ便り

三月号

— 2022 —



じぶん
らしければ
正解!

春

ドキドキする。

あの時、東京の積雪が五センチ程で、大ニースが平日流れる中での北京冬期
オリンピックは様々な角度から驚きと感動の連続だった。特に清いと思った
選手のコメントの「フジヤポラーシベル」「山林険険必死」「銀メダルだった。」「イマンベルが
金をとってその二つ目の金を期待された結果に對して」「二本共ハ、パフォーマンス
が良かった」と晴れやかな笑顔と山さほつポーズ、その訳は二本目の着地直前に
明らかにゆがみ程の右側からの風を受けて板が下に下がって一瞬も立ち直しての
飛距離は並の技術では有り得ない判断力と冷静なフォームによって得られたもの
だった。昨年はワールドカップハ、戦連敗のスラッパに入りそこから踏み切りの基本から
練習場を繰り返して初にかえって空中姿勢を維持する感覚を磨き直して。
飛ぶより後の前に倒れ進んでいた癖を直して、パワーだけじゃなく体のバランス
を整え、平昌五輪初出場七位の特異な厚さにここまで四年間、立派に
成長してきた納得の成果だったのだとわかりました。進化した美しい飛行曲線
に見とれて感動ももたらされた感でした。沢山の涙のドラマがありました。アスリート産
の母に埋不尽な感情に泣き涙の意味とその価値を考えたこともありました。
「た。マイナス20度にもなる厳寒の競技だからこそその美しさこそありました。
報われなかった不運にも挑戦してソチのアスリート産はケガや痛みを言いつけと
せよ。ソチの日がそれは今も今までの輝き以上の価値として彼らに輝かせ
てくれるはず。まあ、一生懸命で来た。年齢のせいで、もうか。昨日涙腺の心
ゆも人が何を見ても感動の涙でした。人生の縮図を映せてもたらしたようには
オリンピック。うねり涙も悔し涙も共に美しく。大人の事情や世界
情勢は一寸先か見えたり不確定さばかりの国を越えた選手達の友情や
リスペクトし合う人間性に触れられた事は夢や希望を失う事は少ない
る。あのとき、思いを新たに。春。た。もうた。中。び。ド。キ。ド。キ。と。る。
は。齡。の。せ。ん。さ。は。あ。り。ま。あ。ん。ど。何。は。と。も。あ。れ。ん。は。私。が。も。自。分。わ。ら。く。く。です。
へ。り。も。あ。い。い。も。入。れ。て。ま。う。そ。う。だ。中。の。り。に。さ。い。く。ん。は。つ。た。と。自。分。を
ホ。メ。ま。う。り。の。春。季。節。の。変。化。り。目。は。さ。い。く。察。て。さ。い。く。合。て。ま。う。
お。え。員。で。お。お。と。ま。い。ま。や。感謝の気持ち。敬具。

令和四年 三月吉日


松本 幸一子 拝